

機会を提供して活躍を促進する～九州大学 女性研究者支援・増加策～

九州大学は、平成 18 年の文部科学省による女性研究者支援事業開始を機に、女性研究者の活躍促進に向けた取組みを大きく進展させ、女性教員数も 1.5 倍に増加させることができた。平成 19～21 年度実施の女性研究者支援モデル育成における「世界へ羽ばたけ！女性研究者プログラム」と、平成 21～25 年度実施の女性研究者養成システム改革加速における「女性枠設定による教員採用・養成システム」の事業を推進し、さらに両事業を効果的に進めるため、大学独自の施策も順次実施してきた。

本学の基本方針は、国際学会参加支援、学内競争的資金の女性枠、教員採用の女性枠など、機会を提供して女性研究者の活躍を促進することである。この間の実績を以下に示すとともに、ポスターでは平成 25 年度で補助事業としての区切りを迎えた女性研究者養成システム改革加速を中心に紹介する。

研究助成

- H18 年 学内研究助成制度に「女性枠」を設定〔自主事業〕（一回り大きな研究費にステップアップ）
- H19 年 国際学会派遣支援、論文投稿支援開始〔自主事業⇒加速事業⇒自主事業〕
- H19 年 スキルアップ・エンカレッジセミナー開始〔モデル事業⇒加速事業⇒自主事業〕

両立支援（ワークライフバランス）

- H18 年 出産・育児期研究助成制度開始（研究補助者雇用経費・研究費）〔自主事業〕（～H22）
- H19 年 研究補助者措置制度（Hand in Hand）開始〔モデル事業⇒自主事業〕（30～40 名／年の利用）
- H21 年 学内保育施設 3 つの開設 定員最大 130 名
- H22 年 教員の（出産等による）中長期休暇取得時支援開始：支援教員を数年間雇用可能（12 名採用）
- H23 年 任期制教員の出産・育児による特例任期申請制度整備（1 名申請）
- H26 年 教授・准教授育児期支援：着任後の出産者へ研究補助者雇用経費の支援（2 名採択）

女性教員増加策

- H20 年 学内大学改革推進経費の部局傾斜配分項目に「女性教員の在籍状況」を追加
- H21 年 教員採用に女性枠を設定し、女性限定国際公募、部局間競争方式開始〔加速事業〕
（H25 年度までに女性枠で 40 名を採用〔教授 4、准教授 21、講師 2、助教 13〕、
大学全体の女性教員数が 5 年で 177 人→301 人（1.5 倍）に増加）
- H25 年 大学改革推進経費部局傾斜配分を見直し、女性教員の増加数も考慮
- H26 年 「第Ⅱ期女性枠設定による教員採用・養成システム」開始（～H30）〔自主事業〕

体制整備

- H16 年 男女共同参画推進室設置（委員会組織）
- H19 年 女性研究者支援室設置（愛称 *SOFRe* ソフル、専任スタッフ常駐）〔モデル事業〕
- H20 年 大学執行部に女性登用の開始（初の女性理事誕生）
- H21 年 女性研究者支援室を女性研究者キャリア開発センターに拡充改組〔加速事業〕
- H26 年 女性研究者キャリア開発センターを男女共同参画推進室に統合し、専任教員 2 名配置
- H26 年 大学執行部の理事 8 名のうち 2 名の女性理事誕生

その他

- H25 年 ロールモデル冊子『ブリランテ』作成、九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム開催
- H26 年 「プロフェッショナルへのキャリア&ライフパス」等次世代啓発事業実施

【連絡先】九州大学研究戦略企画室（女性研究者養成システム改革加速事業関係）

Tel: 092-642-4369 e-mail: office@srp.kyushu-u.ac.jp URL: <http://wrrp.kyushu-u.ac.jp/>

九州大学男女共同参画推進室（女性研究者支援、男女共同参画推進関係）

Tel: 092-642-3972 e-mail: office@danjyo.kyushu-u.ac.jp

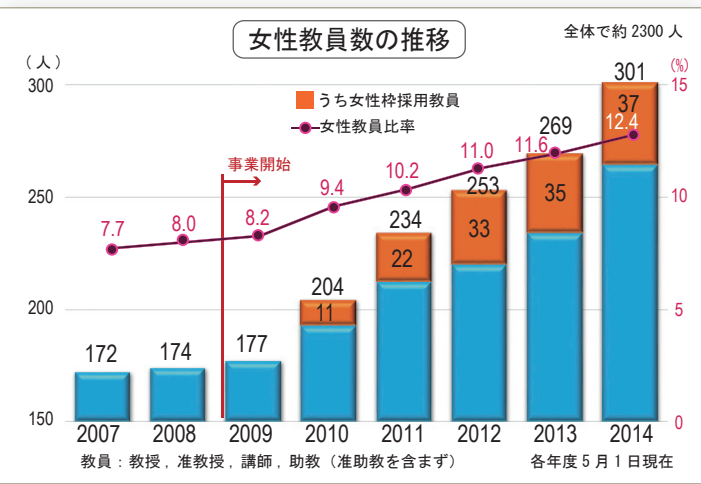
URL: <http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/>

機会を提供して活躍を促進する ～九州大学女性研究者支援・増加策～

女性枠設定による教員採用・養成システム



女性教員 5年で大幅増加



優れた研究実績

2009～2012年度 女性枠採用教員26名(理・工・農分野)

- 2010年 JSPS NEXTプログラム 1件
- 2011年～ JST さきがけプログラム 3件
- 2013年 科研費代表採択件数 25件
- 文部科学省大臣表彰 若手科学者賞
- 資生堂女性研究者サイエンスグラント
- 文部科学省学術調査官・科学官
- 学会理事, NHK解説番組出演 ほか

波及効果

女性研究者への評価向上

部局内改革の推進

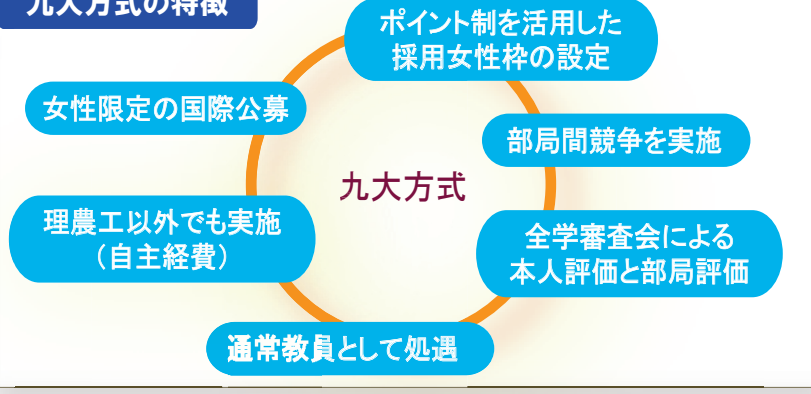
教員評価における出産・育児期への配慮

男子学生へも多様なロールモデルの提示

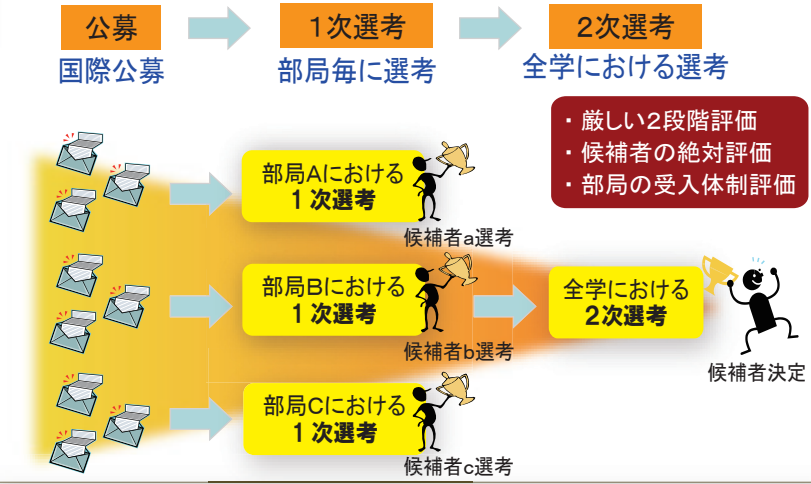
大学全体で女性教員採用の増加

他研究機関での女性限定公募増加

九大方式の特徴



選考プロセス



理学・工学・農学分野 女性枠採用実績

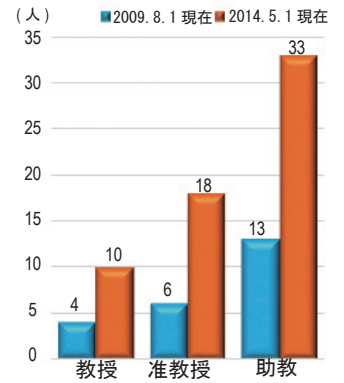
採用年度 (実施部局)	応募数	採用内訳				採用者合計
		教授	准教授	講師	助教	
2009 (8部局)	170	2	6	0	2	10
2010 (6部局)	87	1	4	0	0	5
2011 (7部局)	117	0	2	0	3	5
2012 (6部局)	89	1	2	0	3	6
2013 (4部局)	32	0	0	1	3	4

自主経費実施分野

採用年度 (5部局)	応募数	教授	准教授	講師	助教	採用者合計
2010～2013	206	0	7	1	2	10

40名中 着任後5名出産

理学・工学・農学関係8部局 女性教員数



次世代啓発 / 他機関との連携



女性研究者支援

ワーク・ライフバランス

- 研究補助者措置制度(2007～)
- 3つの学内保育施設開設(2009)
- 中長期休業取得時の支援(2010～) (支援教員(3年程度)採用)

研究助成

- 「学内研究助成女性枠」の設置(2006～2013)
- スキルアップ支援実施(2006～)
- スキルアップセミナー開催(2009～) (能力向上, リーダー養成)

2013年度スキルアップセミナー風景



女性教員増加策

- 公募要領に「男女共同参画推進」の明記(2005～)
- 部局研究費傾斜配分に「女性教員の在籍状況」を設定(2008～)
- 「女性枠設定による教員採用・養成システム」実施(2009～)

